キズーつない

で、特に半導体機器に多用されてい ルミは軽くて加工しやすい素材なの ある素材の中からアルミに特化して いる点だ。伊藤滋社長は言う。「ア 00m間で2・4㎞膨張します」 同社が同業他社と違うのは、 しかし、キズや温度変化に 温度が1度上昇すると、

ちだが、精密機器である半導体機 械の部品の場合、このわずかな差が 「たった2・4㎞の差」、と思いが

また、自社で難しい技術については

半導体分野を安え

匠の技

局品質なアルミ加工 製品そのものはもちろん、それを

> 世界で「いい仕事をする」と評価さ 半導体界でのスタンダード。そんな

程度のキズがあっても許されないのが、 命取りとなる。キズも同様だ。塵

同社の社員は、一つの部品を最初

東大阪市

64

れているのが同社である。

ミクロンを制するのは 機械ではなく 「人」

術は、次のようなものだ。 同社の肝となっている具体的な技

りに大いに役立っている。 種類・高品質の半導体機械部品作 富に持っている。これが小ロット・多 に欠かせない治具製造のノウハウを豊 声を上げた同社は、ミシン部品作り ミシン製造が盛んだった東大阪で産 次に、精度の高い治具作り。かつて ことでキズを防ぎ品質を高めている。 工を、ワンチャック(一回)で済ませる まず、マシニングによる削り出し 他社が二度手間をかける加

理については、匠とも言える技を持 業者の力を借りている。特に表面処 は、やはり積み上げた経験力が不可 そこを見越したものづくりをするに 微妙に膨張していたりするものです。 機械から取り出したときにはもう アルミのような繊細な素材は、工作 で『人の経験』がものを言います。 ですが、わずか数パーセントのところ 誰にでも生産することができます。 品の9%以上は、工作機械の操作で 取引先に喜ばれる精度を出している。 つ小さなアルマイト業者と連携し、 大阪を中心とした100社近い協力 さらに伊藤社長はこう話す。「部



伊藤 滋さん

代表取締役

工等

れによって、社員のスキルが確実に上 ゆる「一人一品」の生産体制。こ から最後まで一人で生産する。 スピードを実現できるという。 がると共に、短納期にも対応できる 世界がどんな不況に陥っても、 いわ

らに取引先の満足度を高めるため、 組立まで行うトータル性を身につけ ズが絶えることはない。今後は、 密機器を支える部品製造の技術ニー さ

伊藤 滋

のが旭精工だ。ミクロン単位の超高 精度が求められる半導体機械部品を、 求される半導体分野。その分野で 作る機械にまで最高水準の技術が要 高い 「アルミ加工」 の技を誇っている 一つひとつ、丁寧に製造している。 数

ることに注力している。

これが「匠」だ。

主な事業内容 基盤露光装置 部品、光学系マウント部品、半 導体関連、精密 機械部品の加

旭精工株式会社

所/〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町3-5-9

業/昭和22年4月 立/昭和32年12月

L/06-6782-0251 FAX/06-6783-7790





経験者だけが持っている感性・ノウハウ。

Company Profile

http://www.d1.dion.ne.jp/~ashsk/

資本金/4,800万円

従業員/ 13名 (平成21年1月現在)